

## 受 験

校 長 惣 田 修 一

杉並区の中学校で3年担任をしていたときのことです。A男は、クラブチーム（シニア）で野球を3年間やっていました。運動能力は抜群だったのですが、わがままな上、自分勝手なスーパーやんちや君だったので、他の生徒からも煙たがっていました。そして、1年から3年までずっと私の学級の生徒でした。

いよいよ進路の話になったとき小学校時代からあこがれていた野球の強いB高校のセレクションを受け、スポーツ推薦で進学しようとしました。ところが、セレクションでは選ばれず、B高校の野球部監督から勉強を頑張って、一般受験をするように言われました。その時、A男は監督に「セカンドポジションは君のために空けておく。是非試験に受かって野球部に入ってきてほしい。」と言われたそうです。

セレクションに選ばれずがっくりしていたA男は、この言葉を励みに夏休み中は猛勉強しました。2学期登校したときには、日焼けで真っ黒だった顔がすっかり白くなっていました。話をきいてみると、朝の9時から夜の7時まで塾の自習室にこもって勉強をしていたそうです。

A男は、2月18日に一般受験をしました。そして、その2日後に発表がありました。結果は残念ながら不合格、彼は学校の職員室に戻ってきて担任の私にその報告をしました。

私：「どうだった？」

A男：「駄目でした」

彼はその言葉を発した瞬間、その場に泣き崩れました。まるで、小さな子どものように涙と鼻水と泣き声が一緒になってあふれ出ました。気が強くやんちゃなA男がそんなにまで泣き崩れるとは、正直予想していませんでした。動搖した私は、気のきいた言葉をかけることさえできなかったのです。

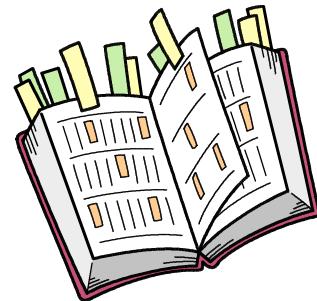
どうやら、合否発表の掲示板に自分の受験番号がないことを知ったA男は、学校に戻る途中、茫然としていて自分が不合格になったことを実感として受け止められなかったようです。その間、誰とも口をきかなかった。学校に到着し、私の顔を見て自分が駄目だったということを口にした瞬間、初めて不合格という現実を実感したようです。我慢していた悲しい気持ちが、一気にあふれ出たのです。A男がB高校に必死な思いで挑戦していたのだという認識を、あらためて痛感しました。

その後、A男は第2志望のC高校を受験し、見事に合格。進学して3年間立派に野球を続け、大学にも推薦入学しました。

受験の合否が人生を決めるというわけではありません。でも、受験の合否は、不思議と鮮明に自分の心の中に残ります。なぜなら、受験のその瞬間は「たった一人の真剣勝負」だからです。親にも先生にも友達にも誰にも頼ることはできません。誰の責任でもない、自分の責任でその瞬間を乗り切って、自分の責任でその結果を受け止めるしかないからです。そして、受験の合否に関わらず、その経験は自分を力強く成長させていく。個人差はあるかもしれないけれど、少なくとも私の場合はそうでした。

3年生に、いよいよその瞬間が近付いてきました。今は目の前のことと精一杯かもしれない。考えづらいかもしれないけれど、たとえどんな結果が待ち受けているかと、長い目で見ればきっと自分の成長につながるはず、是非、力を尽くしてほしいと思います。

1、2年生は、3年生の受験の瞬間の「たった一人」という不安な気持ちを少しでも和らげるために、心の中、全力でエールを送りましょう。



てんかむそう

## 天歌夢奏 ~天での響け我等の歌~

## 合唱コンクール

10月18日(木)、練馬文化センターで合唱コンクールが開催されました。実行委員会を中心に長い期間準備をし、どのクラスも金賞を目指して熱心に練習に取り組んできた成果を発表する機会となりました。

午前の部、開会式に続いて1年生の元気な全員合唱で始まり、今年度本格的な合唱に取り組んだ10組の発表、そして2年生の発表と続きました。そして午後の部、3年生の発表。さすが3年生と感じさせるハーモニー、声量、声の厚み、豊かな表現力で聴くものを魅了する発表でした。入賞したクラスも、残念ながら入賞を逃したクラスも、達成感を感じ、得たものも多かったことと思います。当日は、非常に多くの保護者の皆様にご来場いただきました。ありがとうございました。



結果	金賞	銀賞	銅賞
1年	6組	1組	2組
2年	3組	2組	4組
3年	3組	1組	7組

審査員特別賞 10組



## 10月22日(月) 1年生マナーアップ講習会



10月22日(月)1年生は、リーガロイヤルホテル東京、グループサービスチーム・チーフの及川忠彦様を講師としてお迎えし、マナーアップ講習会を実施しました。11月27日、28日に予定されている職場体験に向けて、実際に職場でお客様を接遇する際のマナーや心構え等について学びました。挨拶やお辞儀・返事の仕方など、今回の職場体験だけでなく、上級学校への進学や就職の際の面接の場面等でも大いに役立つスキルを教えていただきました。

## 10月20日(土) 第55回 練馬区中学校英語学芸会

10月20日、練馬区立生涯学習センターで英語学芸会が開催され、本校からは2年生の渡部真衣さんが参加しました。

"I'll always love you" という題で Recitation(暗唱、朗読)の発表をし、見事、審査員特別賞を受賞しました。



## 練馬区中学校生徒海外派遣報告会

10月26日(金)、小中連携の取組として、大泉小学校・大泉東小学校・大泉第六小学校の6年生を対象に練馬区中学校生徒海外派遣の報告会を実施しました。今年度、海外派遣生として7月にオーストラリアのイブスウィッチ市にてホームステイを経験した3年生の小路さくらさん、菅野佑慈くんが、現地の学校での学習の様子やホストファミリーとの交流について、スライドを使って発表しました。6年生の皆さんからは、数多くの質問も出され、たいへん興味をもって聞いてもらいました。



また、11月5日(月)の朝礼時には、全校生徒の前で同じ発表を行いました。英語による挨拶も堂々としっかりでき、こちらも1・2年生にとっては、次年度以降の海外派遣にむけて、とてもよい刺激になりました。

## 大泉東地区祭 10月28日(日)

### 絵画展入賞者

10月28日(日)、橋戸小学校で育成大泉東地区祭がありました。本校からは生徒会役員を中心にボランティアの生徒がゲームの運営で、コーラス部は音楽会に参加しました。

会長賞 高橋 恵奈 (2-5)	金賞 大豆生田 梓 (1-2)
銀賞 森 真子 (2-3)	銀賞 清水 優真 (2-6)
銀賞 宮原 唯凪 (1-4)	銅賞 両角 優那 (2-6)
銅賞 岡田 桃佳 (1-5)	銅賞 石澤 真緒 (1-7)
銅賞 葉梨 結衣 (1-7)	(敬称略)



## 8校合同文化発表会に向けて

10組は11月16日(金)の8校合同文化発表会に向けての練習に取り組んでいます。

11月12日(月)の朝、本番前にその練習の成果を全校生徒に発表する機会として校内発表会を行いました。時間の関係もあり、



「ボディパーカッション」と沖縄の伝統芸能「エイサー」のみの発表となりましたが、統率のとれた迫力のある演技に圧倒されました。会の最後には、生徒会の役員から応援メッセージと応援の寄せ書きが贈られました。本番では、これに加えて合唱も披露することになっています。10組の皆さん、頑張ってください。

学力向上を図るため授業改善を進めています。全体計画に基づいて各教科で授業改善推進プランを策定し、今後ともさらなる授業改善を進めていきます。

## 平成30年度 授業改善推進プラン（全体計画）

